



## 怪力皇子「小碓命」

日本の国を統一しようとしていた  
 第十二代の景行天皇さまには、  
 たくさんの子どもがおりました。  
 その中に大碓命と小碓命という双子  
 の兄弟がおりました。二人の名前は、  
 難産に苦しむ皇后さまを思いやり、  
 天皇さまが重い白を背負って産屋の  
 まわりをぐるぐる回っておられたこ  
 とから付けられました。

ある時、美濃国（岐阜県）にとて  
 も美しい姉妹がいると聞いた天皇さ  
 まは、兄の大碓命に、その姉妹を  
 宮中に召し連れてくるよう言いつ  
 けられました。ところが、大碓命は  
 その姉妹と結婚してしまっ、別の  
 姉妹をさし出し、食事の時も天皇さ  
 まと顔を合わせないようにしまし  
 た。

うそを知った天皇さまは、弟の小  
 碓命に、「食事の時はきちんと顔を  
 出すよう、お前から兄さんによく話  
 しなさい。」と言われました。

それから五日たっても大碓命が顔  
 を見せないのです、どうしているの  
 かと尋ねられた小碓命は、「朝早く兄  
 さんを待ち伏せして、つかみあげた  
 ら、力が入りすぎて潰してしまいま  
 した。」と答え、天皇さまをたいへ  
 ん驚かせました。

考えてみよう

- 苦勞を共にする
- いっしょに食事ができる
- 力みすぎない